

《履修上の留意事項》【今年度開講なし】

英語を共通言語として研修になるので、英会話力の向上と英語の専門用語の修得に努めること。

《担当者名》教授 / 斎藤 隆史 教授 / 安彦 善裕 教授 / 古市 保志
教授 / 永易 裕樹 教授 / 長澤 敏行 教授 / 越野 寿
准教授 / 佐藤 圭史

【概 要】

海外における歯学部又は病院に中長期滞在し（2週間程度）、臨床の見学を主体として研修を受ける。歯科臨床の知識を深めるのみならず、海外での生活を通じ生きた言語や異文化に触れ、国際人としての素養を身につける。

【学習目標】

訪問地の歯科臨床の特徴について簡単に説明する。
訪問地の歯科医療従事者と簡単なコミュニケーションをとる。
国籍に関わらず、友好的に国際的な人間関係を築く。

【評価方法】

海外研修の発表会の内容により評価する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

- DP1. 人々のライフステージにおける疾患の予防、診断および治療を実践するための基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健、歯科医療技術を修得する。
- DP2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける。
- DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につける。
- DP4. 歯科医療の専門家として、地域的、国際的視野で活躍できる能力を身につける。
- DP5. チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力を身につける。